

令和8年3月4日

読谷村議会
議長 上地 利枝子 殿

読谷村議会議員
岸本 大二郎 印

一般質問通告書

第551回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質問要旨	答弁を求める者
<p>1 新村政における財政調整基金の現状認識と今後の健全な財政運営について</p> <p>(1) 令和4年度から令和6年度の決算において、財政調整基金の残高が大きく減少している過去の実績について、新村政としてこの財政基盤の現状をどのように認識しているか伺う。</p> <p>(2) 令和8年度予算案における同基金からの繰入8億5,000万円の背景と、施政方針で掲げた優先順位を明確にし、計画的かつ段階的に取り組んでいくとの方針との関連について伺う。</p> <p>(3) 学校建設や子育て支援など、今後も大きな財政負担が見込まれる中、施政方針にある国や県の補助事業や特定目的基金を活用するなど、健全な財政運営に努めてまいりますとの決意を踏まえ、中長期的な財政再建に向けた具体策について伺う。</p>	
<p>2 学校給食費無償化に伴う財政負担と子育て支援政策の公平性について</p> <p>(1) 令和8年度予算における学校給食費事業に関し、多額の一般財源が充当される実態と、財政調整基金の運用を含めた今後の持続可能な財源確保の見通しについて伺う。</p>	
<p>3 本村における動物愛護の推進と命を大切にす村づくりについて</p> <p>(1) 保護と殺処分の実態について 過去5年間における犬・猫の保護や返還・譲渡の推移とあわせて、本村が掲げる迷い犬の殺処分ゼロの定義、ならびに負傷等による安楽死を含めた実際の処分状況について伺う。</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>(2) ボランティアへの負担軽減と実効性のある支援策について 村内で活動する動物愛護ボランティアや団体が担う役割の認識と、村との連携における課題、および村としての現在の支援状況について伺う。また、保護にかかる医療費や飼料代等の多くがボランティアの自己負担で賄われている現状を踏まえ、支援策について伺う。</p>	